



☆第47回「ごはん・お米とわたし」 作文図画愛媛県コンクール

宮本さん
 図画3部（中学校1～3年） 全国優秀賞金賞
 藤岡さん
 作文2部（小学校4～6年） 銀賞

宮本さんと藤岡さんは、J A愛媛中央会が開催したコンクールに応募し、それぞれの部門で全国優秀賞金賞・銀賞に見事輝きました。

図画部門で受賞した宮本さんは、稲の天日干しの場面を題材にして重労働ながらも明るく作業する人を力強く描き上げました。一番難しかったのは干された稲の色だそうで、保育所で体験した稲刈り作業を思い出しながら何度も重ね塗りして満足の色が出せたとのことでした。

作文の部で受賞の藤岡さんは家族での食事の風景を作文にしました。家族全員で食卓を囲む時は食事を作ってくれた人に「ありがとう」と必ず感謝の気持ちをみんなで伝えるそうで、そんな温かい場面が思い浮かぶような文章が受賞につながったようです。

宮本さんはサッカー部、藤岡さんはミニバスケットボールとスポーツ好きの食べ盛りな2人はもちろんお米が大好きだそうです。好きなおにぎりの具は明太子（宮本さん）と鮭（藤岡さん）だそうです。

大洲北中学校 1年
 さくたるう
宮本 朔太郎 さん (左)

大洲小学校 4年
 しいな
藤岡 穂七 さん (右)

HighSchool NOW

Vol.72 長浜高等学校

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

長浜高等学校2年の谷本^{ともや}智哉です。私は昨年10月に「えひめ高校生ハワイ派遣事業」に参加しました。その事業の一環として、オバマ元米大統領の母校であるプナホウスクールを訪問しました。

プナホウスクールでは日本語クラスの授業を体験させていただきました。授業では、日本の卒業式について調べているようで、どこで行うのか、何を着るかなどの質問がありました。日本では制服を着用して行いますが、プナホウスクールでは、男子はスーツ、女子はドレスを着用するそうです。ここで私は、文化の違いを感じました。また、歌に関してもプナホウスクールでは自分たちで作詞をしていて驚きました。

授業体験後はキャンパスを案内していただきました。日本とはまるで違いました。陸上トラックの中はアメフトのピッチ、昼食は芝の上で食べる、靴を履いていない人もいました。私はこの自由な空間にとっても感動しました。日本とは文化や気候が違うため、建物の雰囲気や植物などが特徴的で学校とは思えませんでした。

海外でのみなさんとの交流を通して、言語の壁を超え、交流することの楽しさを知ることができました。この経験を今後、さまざまなことに生かしていきたいと思います。



一回は帝京第五高等学校からです。一

きらめき
 ニュース
 シリーズ
 お知らせ
 情報ひろば
 図書館
 未来を拓く
 保健センター
 相談・救急

表彰 おめでとうございます

1月8日(日)、大洲市きらめき大賞と大洲市地域づくり表彰の表彰式を行いました。受賞されたみなさんをご紹介します。

大洲市きらめき大賞

田中 ^{ゆうや} 佑哉さん

田中さんは、昨年9月に開催された2022年アジア・パシフィック・カヌースプリント大会にU21日本代表選手として出場し3位に入賞するなど、アジア・パシフィック地域のトップクラスの選手が集まる中で好成績を収めました。田中さんは、これまでも国体に出場するなどカヌー競技で数多く活躍し、さまざまな大会において優秀な成績を収めています。



頼永 ^{みちかず} 学和さん

頼永さんは、昨年9月に岩手県で開催された日本スポーツマスターズ2022岩手大会で、テニス競技の45歳以上男子ダブルスに出場し、見事優勝の栄誉に輝きました。また、昨年10月に福岡県で開催された第84回地主株式会社全日本ベテランテニス選手権では、45歳以上の男子ダブルスに出場し、準優勝の成績を収めました。



大洲市地域づくり表彰

井上 ^{くにとも} 國友さん

井上さんは、平成23年に若宮地区区長会長に就任されて以来、自治会の副会長や地区自主防災組織会長を歴任されるなど、長年にわたり地域発展のために活動されてきました。平成29年からは自治会長を務められ、多忙な日々を送られていますが、長引くコロナ禍の中で、地域の伝統芸能を衰退させないよう、関係者と協議を重ねながら、地方祭での獅子舞演舞の復活に尽力されました。



「元気歯つらつコンクール」入賞



緒方 ^{ようこ} 洋子さん

「元気歯つらつコンクール」は80歳になっても自分の歯を20本以上保つ8020（ハチ・マル・ニイ・マル）運動の一環として、条件を満たした方を対象に愛媛県が実施しているコンクールです。

緒方さんは長年にわたる口腔ケアが評価され今回の受賞となりました。



年末ゴミノケーション

肱川流域会議水中めがねが主催する清掃活動「年末ゴミノケーション」が12月17日(土)に開催されました。この清掃活動は、きれいなまちで年末の帰省客を出迎えようと大洲インターチェンジ周辺での清掃活動を行っているもので、この日参加した約50人は松ヶ花方面、東若宮方面、喜多医師会病院方面の3班に分かれて道端や側溝からトラック約3台分のゴミを集めました。



南予きずな博が終了

令和4年4月から南予9市町で開催されてきた「えひめ南予きずな博」のクロージングイベントが12月25日(日)に大洲市民会館で開催されました。「きずなシンポジウム」と題されたこのイベントは期間中に開催された250を超えるイベントを映像やパネルディスカッションで振り返るもので、9市町の代表者は南予の食や自然、文化などの魅力をさらに磨くことで今後の発展につなげていくことを確認し、約8カ月に渡ったイベントに幕を閉じました。



優しい^{あかり}灯につつまれて

南予きずな博のクロージングイベントにあわせ、12月25日(日)にキャンドルナイトのイベントがおおず赤煉瓦館で行われました。このイベントはクリスマスにキャンドルを灯すと翌年の健康と家族の幸せが叶うといわれていることから実施されたもので、500個以上のキャンドルとイルミネーションが灯された会場には親子連れなど多くの人々が訪れクリスマスの夜を過ごしていました。



そば^{そば}蕎麦打ち名人を迎えて

大洲農業高等学校の教員と生徒達が講師を務める蕎麦づくり教室が12月26日(月)に平公民館で開催され、愛媛たいき農協女性部が生徒と一緒に蕎麦打ちを体験しました。教員の二宮忠士^{ただし}さんは蕎麦打ち段位認定制度四段を持つ名人で、補助として一緒に参加した生徒も全員が初段の腕前。参加者のみなさんは生徒達と楽しく交流を深めながら「水まわし」「捏ね」といった蕎麦打ちの行程を体験していました。

年の瀬の安全を守る

大洲市消防団による年末夜警出発式が12月28日(水)、市役所玄関前で行われました。市消防団では冬を迎えて暖房器具など火気使用の機会が増加し、年末の慌ただしさから火災発生の危険性が高くなるこの時期に市民のみなさんに安心して新年を迎えてもらうために、毎年12月28日～30日の3日間にわたって、夜間の見回りや防火啓発活動などを行って地域の安全確保に従事しています。



肱川中学校新校舎が完成

建て替え事業を進めていた肱川中学校の新校舎と屋内運動場が完成し、12月21日(水)に落成式を行いました。整備事業を進める中、平成30年7月豪雨により被災し一時事業が中断されましたが、敷地を当初予定より2m^{かさ}高上げするなど、より安全性を高めた施設となりました。落成式では3年の中野真之介さん(写真右)が「新校舎にふさわしい生徒になれるよう励んでいきたい」と挨拶しました。その後の見学会では教室照明の自動調光やバリアフリー化など、快適な学習環境とするためのさまざまな対策を施した新しい校舎に、生徒たちからも歓声が上がっていました。



新校舎の中を見るのは生徒たちもこの日が初めて



きらめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急



冬空に映える

新年の幕開けを祝い、新型コロナウイルス感染症の収束や経済復興を祈願する花火大会が1月6日(金)に肱北河原を会場に開催されました。夏の川まつり花火大会が「夏の陣」と称されるのに対し「冬の陣」と銘打ったこの大会は令和3年*から開催されていて、約1,500発の花火が大洲城を背景におよそ20分にわたって打ち上がり、冬の夜空を彩りました。

*令和3年の大会は中止となっています。



初泳ぎにチャレンジ

昭和30年代からの伝統行事となっている寒中水泳大会が1月9日(月)の成人の日に柚木地区の如法寺河原で開催されました。3年振りの開催となったこの日は穏やかな天気でしたが水温は6℃と低く、参加者は歯を食いしばりながら水に入っていました。最後は愛媛大学と松山大学の学生によるパフォーマンスが行われ、立ち泳ぎをしながら「祝成人の日」と書き上げた際には大きな拍手が沸き起こりました。



めで「たい」一年に

1月9日(月)から11日(水)の3日間、大洲神社の十日ゑびす祭りが開催され、多くの人々が商売繁盛や家内安全を願って参拝しました。特に中日の10日には「鯛」と書かれた餅を拾うと重さ約7キロの大きな天然マダイがもらえる「大鯛まき」が行われ、女性の部で宇和島市の有田勝美さん(写真右)と男性の部が市内の高岡学さん(写真左)が鯛を手にし、幸先のいい一年のスタートに笑顔がこぼれていました。



(写真) 川本観光いちご園の川本さんご夫妻

いちご狩りの季節です

いちご狩りのシーズンを迎え、大洲市では12月18日(日)に徳田いちご園、続いて川本観光いちご園が1月15日(日)にオープンしました。どちらの園も愛媛県が開発した「紅ほっぺ」や「あまおとめ」の品種に加え、その二つを掛け合わせた糖度が高く酸味も強い「紅い栗」などが栽培されています。詳しい情報は両園のホームページまたInstagramをご確認ください。



徳田いちご園
Instagram



川本観光いちご園
ホームページ

【イチゴのババロア】



材料（4個分）

イチゴ		120g
牛乳		100ml
絹豆腐		100g
砂糖	A	40g
バニラエッセンス		少々
レモン汁		小さじ1/2
ゼラチン		5g
お湯		50ml
イチゴ（飾り用）		2個

作り方

- ① ヘタを取ったイチゴとAをミキサーにかけて、ボウルに取り出す。
- ② ゼラチンを50mlのお湯（60～80℃程度）でよく溶かす。
- ③ ①のボウルに②を入れて、よく混ぜ合わせる。
- ④ 容器に移して冷蔵庫で冷やし固める。
- ⑤ 飾り用のイチゴを縦4等分に切り、④の上に飾る。

イチゴの栄養

甘酸っぱいイチゴには抗酸化作用のあるビタミンCや貧血予防に効果的な葉酸が豊富に含まれています。また、赤い色素成分であるアントシアニンには目の働きを強めたり、眼精疲労を予防する効果も期待できます。



【レシピ提供：健康増進課】

CDO補佐官 鈴木邦和くにかず

DXのすゝめ



今回は「なぜ行政のDXが必要なのか」というテーマです。みなさんは「大洲市の行政サービス」と聞くと、何を思い浮かべますか？大洲市は行政としてみなさんの生活に欠かせないインフラの維持に加えて、教育、福祉、防災などのさまざまな施策も行っています。これらは毎年約300億円の一般会計予算と、約650名の職員によって運営されているものです。しかし、今後、日本全体で人口減少が加速し、財政も益々厳しくなる中で、これまでのような形では、行政サービスを維持できなくなってしまいます。だからこそ、デジタル技術も活用して、一つ一つの行政サービスを効率化し、将来にも持続可能な形に変えていくことで、みなさんの生活を守っていくことが大切だと考えています。余談ですが、私は、2011年の東日本大震災の後に、東北で2年近くボランティアとして活動してきました。全てが流れてしまった街で生きる中で痛感したのは、日々当たり前のように存在している行政サービスが失われることの辛さです。私にとっては、被災地での経験が、この仕事の原点になっているのかも知れません。

次回は、DXによって、みなさんの生活がいかに便利で豊かになるかをお伝えしていきます。

文化財

武田千穎・豊城ちかい とよきの墓
大洲市指定史跡
個人所有



西大洲八尾の山中に、幕末から明治初期に父子二代にわたって活躍した武田家の墓所があります。

父の千穎（1795～1867）は、和歌国学を修め、大洲地方屈指の歌人として名を馳せた人物です。長男の豊城（1831～1886）は、幕末には大洲藩の勤王派（天皇に忠義を尽くす者）として尽力しますが、維新後の明治10（1877）年に勃発した西郷隆盛を中心とする西南戦争に呼応し、その中心人物となり大洲・吉田・宇和島の旧士族達と共に西郷軍を支援しようと計画します。事件は未然に防がれ逮捕収監されてしまいますが、豊城は父同様に和歌にも精通しており、獄中で和歌の指導に当たったとされています。

父子二代にわたり優れた和歌を遺した文化人の墓所として貴重といえます。

（昭和59年1月25日指定）